

## 平成 24 年産 紀南の梅産地情報

.12/05/9

1. 4月24日の定点調査結果は、全ての品種で結実率が低く古城・南高の着果は前年・平年より非常に少なかった。

小梅も着果は前年に比べ非常に少なく、平年に比べ少ない状況であった。



定点調査の着果数（枝径2㍉の枝当たり）と結実率

品 種	平年 (H14~23)		平成 23 年		平成 24 年			
	結実率	着果数	結実率	着果数	結実率	着果数	平年比	23年比
小 梅	31.4%	123	37.0%	154	29.0%	91	73%	59%
古 城	6.0%	22	5.4%	19	3.8%	11	52%	62%
南 高	12.8%	49	15.2%	49	8.7%	24	50%	49%
在来系	11.7%	42	8.9%	30	7.3%	23	55%	76%

2. 5月9日時点の果実の実肥りは、4月中旬以降高温で推移したため、小梅 17.5mm（平年比 100.6%）、古城 31.5mm（平年比 105.7%）、南高 30.4mm（平年比 105.6%）と順調に伸びている。
3. 梅部会まとめの5月9日時点の生産予想量は、小梅 861 トン（前年比 82%、平年比 86%）、古城 554 トン（前年比 71%、平年比 52%）、南高 14,356 トン（前年比 58%、平年比 63%）、在来系 434 トン（前年比 72%、平年比 58%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 出荷販売時期は、実肥りが良く、果実の生育もやや回復していることから、小梅・古城は5月20日頃から、南高は6月上旬からの販売を計画している。
5. 結実後の気象は、4月上旬の気温は低く推移したが、中旬では平年並み、下旬では平年を大きく上回っている。降水量は前年・平年に比べやや少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	22 年	23 年	24 年	平年	22 年	23 年	24 年
4 月上旬	13.8	13.9	13.9	12.3	50.0	44.0	27.5	35.0
4 月中旬	15.1	13.9	14.0	15.6	55.5	56.5	14.5	48.5
4 月下旬	16.7	14.6	15.4	18.4	40.2	78.0	78.0	25.0

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）